

持続可能な公共交通へ 地域を支える路線バス

皆さんのくらしを支える「路線バス」は、
 自家用車の普及や人口減少、少子化などにより、
 全国的に利用者の減少が続いてきたことに加え、
 昨今の新型コロナウイルス感染症の影響で、利用者数はさらに減少しており、
 バス事業者の経営は、ますます厳しくなっています。
 市は、「地域にとって望ましい地域旅客運送サービスの姿」を求め、
 令和2年度から、市民アンケート調査や利用実態調査、バス事業者との協議を進め、
 バス路線の見直しや利用促進策の推進などの取組方針を定める
 《地域公共交通計画》を策定しました。

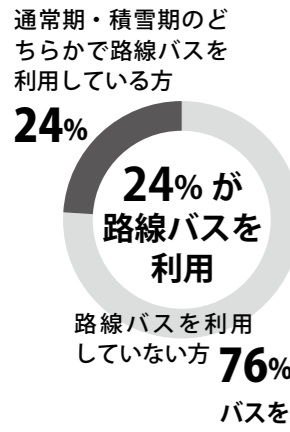


【詳細】交通政策課 交通政策係 ☎(24)0897 📠(22)8854

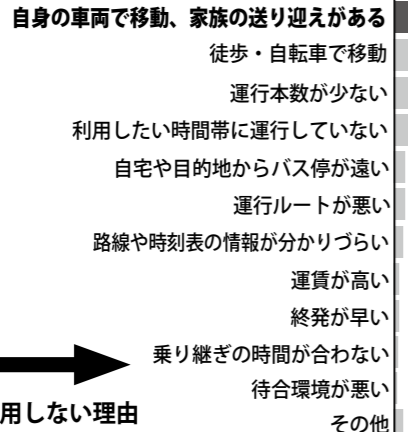
利用者のアンケート調査結果

地域公共交通計画の策定に当たり、市民の移動手段の利用実態や路線バスに対するニーズを把握するため、アンケート調査を実施しました。《バスを利用しない理由》として、自家用車の利用が突出して多いことから、利便性の向上や情報提供、利用意識の醸成により路線バスへ転換できる可能性が考えられます。

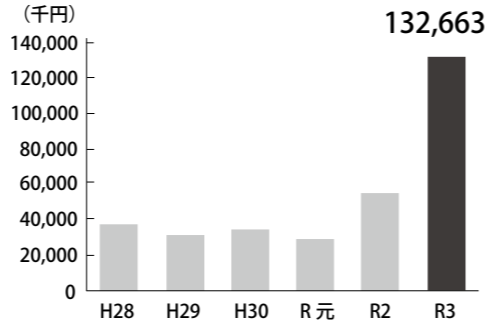
バス利用者の割合



バスを利用しない理由



千歳市の赤字バス路線の補助金



赤字バス路線への補助金による補てんは、市の財政状況に影響があり、市とバス事業者は緊密に連携し効率的な運行に努めます。

地域公共交通計画の基本方針

市は、平成28年3月に《千歳市地域公共交通網形成計画》、平成28年7月に《千歳市地域公共交通再編実施計画》の策定を行い、まちづくりと一体となった公共交通ネットワークの再構築を行いました。
 その後、計画策定およびバ

地域公共交通計画の基本方針

- 基本方針① 公共交通の**利便性・安全性**を向上させ、利用者の増加を図る
- 基本方針② 利用者の需要に合わせた**効率的・効果的**な運行体系を構築する
- 基本方針③ 誰もが**多様な目的**で利用しやすい公共交通サービスを構築する
- 基本方針④ 公共交通事業の**存続に向けた担い手の確保**を図る
- 基本方針⑤ 公共交通利用促進のための**市民意識の醸成**を図る
- 基本方針⑥ 公共交通以外の**輸送資源を活用**した交通ネットワークを構築する

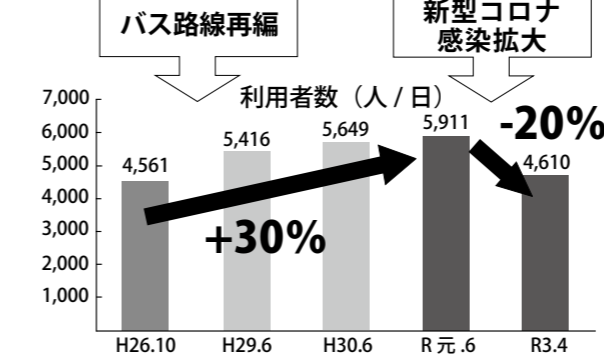
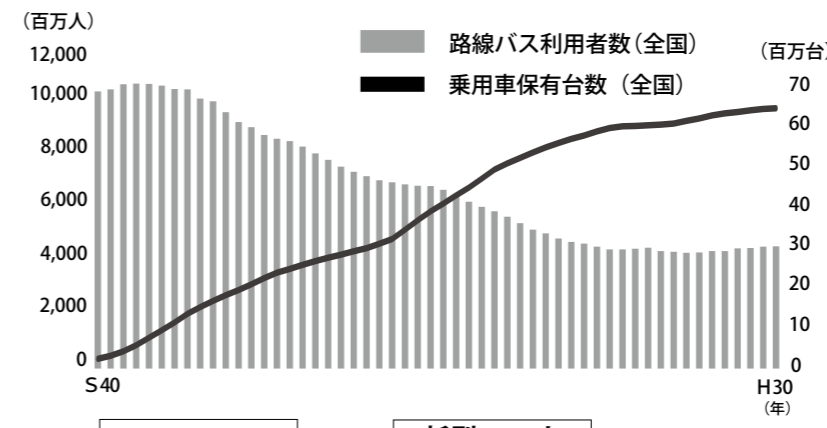
100 千歳市独自の割引運賃制度の継続

- ① **チョイ乗り 100 円運賃**
乗車地点から約 1.3 km 以内は 100 円で乗車できます。
- ② **乗継チケット**
千歳駅または市民病院で乗り継がなければ目的地に行けないときに利用できるチケットで、乗り継ぎ後の便が 100 円引きになります。チケットは乗り継ぐ前の便の運転手にお声かけいただければ受け取れます。
- ③ **シルバーおでかけパス**
利用が少ない時間帯の利用促進を図るため、市内に住む 75 歳以上の方を対象に、始発のバス停を 10 時から 16 時までに出発する便に 100 円で乗車できるバスポートです。発行手続は交通政策課で行っています。

路線バスを取り巻く現状

全国の路線バス利用者数は、自家用車の普及により、昭和40年代をピークに大幅に減少しており、バス事業者にとっては厳しい状況が続いています。千歳においては平成28年のバス路線再編以降、利用者数は増加傾向にありましたが、地域間幹線系統を除く市内15路線中(勇舞空港線は2社で別路線とみなす)11路線で赤字運行となつていま

す。さらに、令和2年2月以降の新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者数は2割以上減少しており、現状としては、市内全路線で赤字での運行となっています。
 今後、高齢化の進展にともない、車を運転しない人の増加が予想され、日常生活における市民の足としての公共交通の果たす役割が増す一方で、運転手の高齢化も進んでおり、各バス事業者は、乗務員を確保することが困難になっていきます。



市役所とイオン千歳店にデジタルサイネージを新設しました

現在、路線バスの運行情報を配信するデジタルサイネージを市内5か所（市民病院、千歳ステーションプラザバス待合所、千歳駅東口バス乗り場、ホクレンショップ東郊店、もりもと本店）に設置していますが、今回のシステム整備とあわせて、新たに市役所（市民ホール）とイオン千歳店にも設置しました。



路線バスの運行時刻や遅れ情報が一目で確認できるようになりました。手続きやお買い物の際は、是非、路線バスをご利用ください。

4月からの見直し内容 ～バス路線が一部変更となります～

令和2年に実施した市民アンケート調査やバス事業者との意見交換などを踏まえながら、令和4年4月からのバス路線を以下の通り一部見直します。バス事業者は乗務員の安定確保が課題となっており、引き続き運行路線や便数などについて協議していきます。

路線名	運行方針	見直し内容など
桜木線	便数調整（減便）	利用状況や桜木長都線の運行を考慮し、便数調整（減便）を行います。
桜木空港線	一部の経路変更	千歳高校先回りの系統は市民病院を迂回するルートへ変更します。
みどり台線	現状維持	利用者が比較的少なく、継続的に状況把握・分析を行います。
みどり台空港線	現状維持	空港需要の動向について状況把握・分析を行います。
支笏湖線	現状維持	空港需要の動向について状況把握・分析を行います。
大和線	路線名の変更	行先に合ったわかりやすい路線名（新皇空港線）へ変更します。
空港市内線	現状維持	空港需要の動向について状況把握・分析を行います。
東部隊線	便数調整（減便）	便数と利用者のバランスが悪いため、便数調整（減便）を行います。
稲穂団地線	現状維持	利用者が比較的少なく、継続的に状況把握・分析を行います。
泉沢向陽台線・泉沢市民病院線	現状維持	利用者が比較的少なく、継続的に状況把握・分析を行います。
図書館青葉線	現状維持	利用者が比較的少なく、継続的に状況把握・分析を行います。
市民病院プール線	通常運賃へ変更・一部北陽高校へ延伸	試験運行により利用の定着が確認されたため、通常運賃へ変更します。朝の通学時間帯の便について、北陽高校まで延伸します。
勇舞空港線	現状維持	空港需要の動向について状況把握・分析を行います。
桜木長都線	通年試験運行	利用需要を把握するため、通学や買い物時間帯に限定し、通年で試験運行を行います。

新しい路線：桜木長都線

昨年10月に実施した試験運行では、買い物を目的とした便について、一定の需要が確認でき、採算性と利用者ニーズなどを踏まえ、通勤・通学、買い物に必要な運行計画とした上で、令和4年度は通年で試験運行を実施します。

本格運行：市民病院プール線

平成28年から試験運行を行っていましたが、一定程度の利用の定着が確認されたことから、本格運行へ移行し、運賃に関しては、他路線と同様に、移動距離に応じた運賃への変更（100円→200円～）を行います。また、朝の通学時間帯の便について、北陽高校前まで延伸します。

桜木長都線の路線図



一覧表示



ご利用方法は、簡単2ステップ♪

- ① バス停名を入力して検索（バス停名の一部でも可）
- ② バス停名を選択

選択したバス停の運行情報（定刻・路線名〈行き先〉・運行会社・運行状況）が表示されます。

任意の日時を設定すると、その時間帯以降の路線バスの運行情報が確認できます。



システムへのアクセスはコチラから

検索



時刻表で運行ダイヤを確認するのは大変なので、これをきっかけにスマートフォンを利用してみたいと思います。

自宅にしながらバスの時刻や遅れ情報を確認できるので便利です。遅延時にも、雨や雪の中で待つ時間が少なくなります！



Google マップ上で路線バスの運行情報が確認できるようになります

近年、全国のバス事業者では、路線バスの運行情報を世界共通のフォーマットで整備し、インターネット上に広く公開（GTFS）する取組が進んでいます。今回のシステム導入により、市内バス事業者の運行ルートを検索できるようになったほか、リアルタイムの位置情報を確認できる機能も3月末に公開される予定です。整備が完了すると、さまざまなアプリで活用が促進され、利便性が大きく向上し、バス利用の増加が期待されます。



目的地までのルートと移動手段が確認できます。



① Google マップ上で出発地・目的地を入力

② 移動手段を選択（公共交通）

③ 出発時刻を選択

参加無料 スマートフォンの使い方が学べる スマホセミナーを開催します

スマートフォンをお持ちでない方やスマートフォン初心者の方などを対象とした、実際に操作方法を体験しながら使い方が学べるセミナーです。今回ご紹介した路線バスの運行情報の確認方法を含め、日常よく使う機能を中心に使用方法をご紹介します。詳細については広報ちとせ4月号に掲載します。

【実施内容】

期間：令和4年5月～7月（予定）
場所：市内コミセンなどの駐車場（専用車両内：定員3人）
方法：講師がオンラインで説明

「ちーなび」の終了について

市は、平成28年から、産学官（民間企業・大学・市）の共同研究により開発した、市独自のバスロケーションシステム「ちーなび」を運用してきましたが、今回の新システムの導入により、3月末でサービスを終了します。長い間ご利用いただき、ありがとうございました。

New system



路線バスの運行情報を配信する新システムが完成

スマートフォンの活用などで市内のバス停ごとの運行時刻や遅れの情報を確認できるようになり、時刻表の確認が不要となるほか、アプリ上での経路検索も可能となり、リアルタイムの運行情報についても順次反映される予定となっています。